様式1　管理運営状況評価書
【対象年度：平成25年度】　（　①歴史・文化施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　（単位：人、%、円、日）

番号	15	施設名	遠州南部とうもんの里総合案内所	担当課名	農林課

区分		内容 ・ 説明	
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	遠州南部とうもんの里総合案内所条例	
	(2)施設設置目的	遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図るため。	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内コーナー、研修室、加工体験室（調理室）、特産物展示スペース	
	(4)施設建設年度	平成18年度	
	(5)耐震性能の有無	有	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	台風対策窓修理（研修室、展示室）	
	(7)指定管理者名	NPO法人　とうもんの会	
	(8)指定期間	平成24年4月1日　から　平成29年3月31日　まで	
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(10)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(11)指定事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(12)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成25年度）	

区分				H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数			88,193	86,640	101,125		
	内訳（施設・設備ごと）	活動体験者		3,188	1,188	835		
		講座受講者		848	762	435		
		団体活動参加者		3,839	3,003	2,703		
		視察者		115	225	241		
		登録出荷者		250	267	287		
		レジ客（出荷者含む）		55,513	54,770	62,054		
		案内・ﾛﾋﾞｰ及びｲﾍﾞﾝﾄ広場利用者等		24,440	26,425	34,570		
	(2)稼働率（利用率）							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）	とうもん案内処	A平日昼間			100.0%		①とうもん案内処・・・302回、23,476人
			B平日夜間					②研修室・・・158回、4,120人
			C土日祝昼間					③体験加工室・・・89回、1,980人
			D土日祝夜間					④展示室・・・306回、62,054人
		研修室	A平日昼間			52.3%		⑤ｲﾍﾞﾝﾄ広場・・・76回、8,436人
			B平日夜間					⑥事務・管理・・・335回、1,059人
			C土日祝昼間					平成25年度利用者合計①～⑥　101,125人
			D土日祝夜間					
		体験加工室	A平日昼間			29.5%		
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

2 利用状況	（施設・設備ごと）	展示室	A平日昼間			101.3%		
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		イベント広場	A平日昼間			25.2%		
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		事務・管理	A平日昼間			110.9%		
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		59	59	49		
	(3)運営日数		319	331	302		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	9.0	9.0	9.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費	4,472,040	4,516,200	4,395,661	4,111,000	
	②印刷費	390,262	239,409	291,684	324,000	
	③通信費	305,701	322,670	306,956	347,000	

(1)運営コスト（A）	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税（租税公課）等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	5,168,003	5,078,279	4,994,301	4,782,000	
	対前年度増減率		△ 1.7	△ 1.7	△ 4.3	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	1,359,465	1,379,125	1,169,586	1,363,000	
	清掃業務	448,804	468,477	278,038	442,000	
	公園樹木管理	250,031	223,348	229,898	187,000	
	浄化槽管理業務	196,110	222,360	196,110	250,000	
	防火設備保守事業	59,430	59,850	60,060	65,000	
	防犯警備事業	163,800	163,800	164,190	169,000	
	POS管理保守事業	241,290	241,290	241,290	250,000	
	②修繕費	37,170	116,505	201,703	200,000	
	③光熱水費	1,322,218	1,301,816	1,359,994	1,548,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	532,144	294,275	444,416	277,000	
	計	3,250,997	3,091,721	3,175,699	3,388,000	
	対前年度増減率		△ 4.9	2.7	6.7	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		8,419,000	8,170,000	8,170,000	8,170,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	61.4	62.2	61.1	58.5	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	35,120	24,120	30,210		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.7	0.5	0.6		

Ⅲ　収支差額の状況　　注）【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入	35,120	24,120	30,210	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,419,000	8,170,000	8,170,000	
収支差額　a）－b）	△ 8,383,880	△ 8,145,880	△ 8,139,790	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）				
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入	11,108,971	10,875,940	12,253,778	
b) 自主事業の支出	10,086,606	10,677,362	11,584,249	
収支差額　a）－b）	1,022,365	198,578	669,529	
c) 指定事業・その他事業の収入	0	0	0	
d) 指定事業・その他事業の支出	0	0	0	
収支差額　c）－d）	0	0	0	

Ⅳ　担当課による評価

（1）施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	「田園空間整備事業」の拠点として整備された施設であり、事業目的に沿った事業を展開し、施設の目的である農業・農村の魅力発信に努めている。設置目的を念頭においた管理運営を行っており、引き続き、利用者へのアンケートなどにより、意見の把握に努め、業務改善に反映させ顧客満足度を高める努力をすること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

（2）利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より50％以上増加している。	2	とうもんで実施する各種メニュー及び研修室等施設利用のPRを強化し、広い範囲からの利用者増加に努めること。 農林水産大臣賞等の受賞により、視察者は毎年増え続けているが、資料等の経費が生じため、経費分を徴収すること。
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している（原因を追及する）。		

（3）収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	黒字である。	1	研修室の使用に関して、PRを強化し、毎年、利用団体数が増え、使用料収入が増加するように努めること。また、使用者からの意見の把握にも努め、顧客満足度を高め、リピーターを増やすこと。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額（赤字）が増えている。		

（4）安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	開館時間帯の作業、危険を伴う高所作業等においては、カラーコーン、安全ロープ、注意表示板等を設置し実施すること。また、起こりうる事態のシュミレーションをし、万全の体制で迅速に的確に対処できるようにすること。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

（5）本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	田園空間整備事業で整備した広域的な拠点施設であるため、事業の目的に沿った事業展開や事業効果が求められる。 本施設の継続性については、行政も常に設置目的に合った事業を推進できているか、事業の効果について関与しなければならない。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など）		

（6）総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	全般的に適切な施設管理・事業運営を行い、おおむね施設の設置目的を満たしており、引き続き現在のレベルの維持を願う。施設の収容能力にはまだ余裕があるとみられるので、イベント、講座を含めより多くの市民利用を図られるよう期待する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	12	／18

Ⅴ　その他自由意見